

～下関市と釜山広域市の交流について～

下関市総合政策部国際課

(釜山広域市派遣職員)

阿部 さおり

안녕하세요!

今回は、姉妹都市締結 40 周年のフィナーレとして、両市の姉妹都市交流の歴史について触れたいと思います。

下関市と釜山広域市との姉妹都市締結の最初のきっかけとなったのは、1965 年（昭和 40 年）の日韓基本条約締結による国交正常化でした。翌年の 1966 年（昭和 41 年）には、駐下関韓国領事館が設置されると共に、高校生の親善訪問が始まり、若い世代の交流がスタートしました。そして、1970 年（昭和 45 年）には、下関市と釜山広域市の交流の懸け橋である「フェリー関釜」が就航し、その翌年の 1971 年（昭和 46 年）には、映画「チルソクの夏」の舞台にもなった関釜親善陸上競技大会が開催されました。フェリー関釜が就航して以来、各種民間団体における姉妹提携や文化・経済面での交流も活発化し、姉妹都市提携の機運が高まり、1976 年（昭和 51 年）10 月 11 日、「下関・釜山姉妹都市結縁共同宣言書」が署名され、姉妹都市締結が実現しました。

締結から 10 年間は、市民レベルでの活発な「草の根交流」が展開され、各種団体及び学校の姉妹提携、スポーツ団体の相互訪問交流等が繰り広げられ始めた時期でした。1984 年（昭和 59 年）からは、両市で相互に観光名所を紹介し合う「観光展」が始まり、1986（昭和 61 年）に下関市で締結 10 周年の記念式典を開催しました。また、相互間の交流の活発化に伴い、玄関口となる現在の下関港国際ターミナルが 1988 年（昭和 63 年）にオープンしました。

続いて、締結 20 周年の記念式典が釜山広域市で開催され、多くの下関市民が釜山広域市を訪れました。この 20 周年から次の 30 周年までの間に、毎年 11 月 23 日に開催されている「リトル釜山フェスタ」、そして馬関まつりでの「朝鮮通信使行列再現」がスタートしました。

そして、締結 30 周年の記念式典は、馬関まつりの朝鮮通信使行列の再現に併

せ下関で開催しました。35周年の節目には、「関釜友好イベント」として、下関市民応援団 120 名によるプロ野球「釜山ロッテジャイアンツ」観戦ツアーが行われ、球場の内外での下関市の観光PRブースの設置や、馬関奇兵隊による「よさこい」などが公演されました。

今回ここでご紹介したもの以外にも下関市小学生韓国派遣事業、大学生のインターンシップ相互派遣など、数多くの交流事業が行われています。

皆さんがご参加いただける交流事業は市報等でもお知らせしていますので、ぜひ一度足を運んでみて下さい。そして、姉妹都市である釜山広域市をもっと身近に感じていただけると幸いです。



1976年10月11日姉妹都市締結



リトル釜山フェスタ